

平成27年第4回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成27年4月14日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成27年4月14日	開会 1時30分 閉会 2時28分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員 長 鮎川志津子 委員 長職務代理者 福元 弘和 委 員 渡邊 恭秀	委 員 岡村理栄子 教 育 長 山本 修司	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 川合 修 生涯学習部長 西田 剛 庶務課長 河田 京子 学務課長 鈴木 剛 指導室長 小林 正隆 指導室長補佐 高橋 良友 生涯学習課長 石原 弘一	図書館長 上石 弘美 指導主事 平田 勇治 指導主事 丸山 智史 庶務係長 中島 良浩	
調 製	中島 良浩		
傍聴者人数	1名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 2 5 号	小金井市社会教育委員の委嘱について
第 3	議案第 2 6 号	小金井市図書館協議会委員の委嘱について
第 4	報 告 事 項	1 平成 2 7 年度教育委員会の主な事業について 2 平成 2 7 年度学級編制について 3 寄附の収受について 4 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 5 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について 6 平成 2 7 年度研究奨励校等について 7 その他 8 今後の日程
第 5	代 処 第 7 号	職員の分限処分に関する代理処理について

鮎川委員長 皆様、こんにちは。
ただいまから、平成27年第4回小金井市教育委員会定例会を開会する。
日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、福元委員と渡邊委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

鮎川委員長 次に日程第2、議案第25号小金井市社会教育委員の委嘱についてを議題とする。
提案理由を説明願う。

山本教育長 提案理由について、ご説明する。
小金井市社会教育委員が平成27年3月31日をもって1名欠員となったので、新たに委員を委嘱する必要があるため、本案を提出するものである。
細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご議決賜るようお願い申し上げます。

石原生涯
学習課長 それでは、細部についてご説明させていただきます。
小金井市社会教育委員である校長会からご推薦があった宗像委員が平成27年3月31日をもってご退任されたので、後任の委員を同じく校長会からご推薦をお願いして、古家義伸委員候補者、市立小中学校校長会からご推薦をいただいたので、補欠委員として委嘱をお願いしたいというものである。

鮎川委員長 事務局の説明が終わった。何かご質問、ご意見はあるか。よろしいか。
では、質疑を終了する。
それでは、お諮りする。議案第25号小金井市社会教育委員の委嘱については、原案どおり可決することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

鮎川委員長 異議なしと認める。本案は原案どおり可決することと決定した。
次に日程第3、議案第26号小金井市図書館協議会委員の委嘱についてを議題とする。
提案理由を説明願う。

山本教育長 提案理由についてご説明する。
小金井市図書館協議会委員が平成27年3月31日をもって1名欠員となったので、新たに委員を委嘱する必要があるため、本案を提出するものである。
細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご議決賜るようお願い申し上げます。

上石図書館長 では、細部についてご説明する。
第13期小金井市図書館協議会委員のうち1号委員、学校の代表者が、人事異動に伴い平成27年3月31日で任期満了になったため、小金井市図書館協議会委員候補者選出要綱第6条により、残任期間の欠員補充をする必要が生じる。小金井市図書館協議会委員候補者選出要綱第3条により、小金井市小中学校長会に推薦を依頼し、神成真一氏を推薦いただいている。当該委員を協議会委員として委嘱するため、教育委員会のご議決を賜るよう、よろしく願います。

鮎川委員長 事務局の説明が終わった。何かご質問、ご意見はあるか。
私から1つ質問する。今、欠員は1名だけであるのか。

上石図書館長 条例の第3条の5、学識経験者1名が昨年の11月で辞任している。そちらのほうは、選出要綱の補欠委員のところで、5号委員、学識経験者は残任期間中補欠委員を置かないということで、そちらのほうは補欠委員を置いていないが、こちらの1号委員の学校代表者については、残任期間に補欠委員を置くということになるので、ご推薦いただいた。

鮎川委員長 わかった。ご丁寧なご説明ありがとうございます。
ほかにご質問ないか。
では、質疑を終了する。

それでは、お諮りする。議案第26号小金井市図書館協議会委員の委嘱については、原案どおり可決することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

鮎川委員長

異議なしと認める。本案は原案どおり可決することと決定した。次に日程第4、報告事項を議題とする。順次、担当からご説明願う。

川合学校
教育部長

それでは、平成27年度の教育委員会の主要な事業についてご説明する。

初めに私から総括的なお話をさせていただき、具体的な施策については、各部局よりご説明させていただく。

まず、平成27年度の予算についてである。前回の委員会の中でも、前部長から説明があったと思うが、教育費全体では総額32億2,812万3,000円となっており、前年と比較すると4億600万円の減となっている。

学校教育部が所管する教育総務費、小学校費、中学校費で見ると、合計で前年度対比約3億5,000万円ほどの減となっている。

特徴的なものを見てみると、教育委員会の庶務的予算である教育総務費では、私立幼稚園等の就園奨励費の補助金、園児保護者補助金等が学務課から保育課へ所管がえとなり、約1億8,000万円の予算が民生費に移っている。

小学校費においては、教科書の採択に伴う教師の指導書などの消耗品が約2,500万円ほど増となっている。

中学校費においては、昨年実施した南中学校の運動場の芝生整備関連経費、それと第一中学校の屋内運動場の床等の改修工事が終わったことにより、工事費が約1億5,000万円と大幅な減となっている。

以上のような特徴があるが、教育予算全体を見ると例年並みの規模となっているところである。

次に教育委員会制度改革への対応である。

本年10月から新教育長誕生に合わせ、本格的な制度改革がスタートする。市長部局で予算措置をしている総合教育会議の運営につ

いても、新教育長が主宰する教育委員会の対応と現場に影響がないよう、積極的に教育委員会がかかわっていかねばならないと考えている。

それでは、学校教育部における主要な施策である。

小金井市教育委員会では、教育目標及び教育方針に基づき、5年間の「明日の小金井教育プラン」を策定している。平成27年度は最終年度となっている。この教育プランは、小金井らしさの醸成、教育の根幹をなす知育・徳育・体育の推進、さまざまな施策を推進するため教育環境の整備、この3つの視点に17の取り組み、そして、38の重点施策を推進していくことを目標に見据えた中期的な計画となっている。

平成27年度においては、大変厳しい財政状況の中、相互の工夫でこの計画を推進することとなっている。本日はその一端を皆様にご報告し、ご理解とご協力をお願いしたいと思う。

それでは、担当よりご説明するので、どうぞよろしくお願いする。

河田庶務課長 それでは、平成27年度庶務課における主要な施策について、概略ではあるが説明する。

初めに、教育委員会制度改革への対応ということでは、部長も申し上げていたが、現場に影響が出ないよう積極的にかかわってきたいと考えている。

また、「明日の小金井教育プラン」については、現行の計画年度が23年度から27年度までとなっているので、28年度からの計画の策定を行ってまいらる。

次に、施設面における主な事業である。小学校トイレ改修工事として、市内4校でトイレの洋式化などの改修工事を実施する。また、学校施設は地域の防災拠点ともなることから、非構造部材の改修などを行ってきたが、27年度は2校でガラスの飛散防止対策の工事を行う。

また、学校給食調理業務を委託したことにより生み出された財源をもとに、学校給食を充実させるための備品設置等に関連する工事や設計委託を行う。

学校施設の改修工事や修繕については、多額の予算を伴うものであり、市の厳しい財政状況においては全てを賄い切れるものではないが、限られた財源をもとに、国や東京都からの補助金を有効的に

活用しながら児童・生徒のための快適な教育環境づくりに努めてまいりたいと思っている。

鈴木学務課長 学務課より、平成27年度教育委員会の主な事業について、ご報告させていただく。

提出している資料の主な事業のほかに、学務課の内容についても少し説明をさせていただきたいと思う。

平成27年度は本町小学校が50周年を迎えることに伴い、記念品の購入、記念誌の印刷及び案内状等の発送に係るもののほかに、教科書採択がえの年でもあることから、新指導要領に伴う指導図書購入に関し予算化をした。

学校運営に関する経費としては、前原小学校の特別教室等に設置されているエアコンが設置後19年から27年経過していることがあり、修理が困難になっていたり、エアコン入れかえということで、リプレースを夏休み期間中に行う予定である。

また、みなみ学童保育所の建てかえ工事に伴い、南小学校の通常の学級用教室を仮設の学童保育所として使用するため、新たな教室とする大会議室にエアコンを設置するもので、6月中旬の稼働を目指している。

発達支援事業と就学相談の連携など、特別支援教育の推進として、児童発達支援センターきらりと就学相談に関する連携、就学前から就学後へのつながりを充実していきたいと考えている。

次に、学校給食での取り組みについてである。食育の推進については、学校での食育の推進とともに家庭における食生活の大切さの理解を図り、地産地消についても各学校とともに推進していきたいと考えている。

また、食物アレルギー対応については、全教職員共通認識のもと、食物アレルギー対応基準等に沿って確実に対応していくため、改めて周知してまいりたいと考えている。

給食の運営については、小金井市学校給食の指針を推進し、学校給食を見守り支援していくための組織として、「小金井みんなの給食委員会」を立ち上げることとなった。

主な取り組みとしては、学校給食関係者が集う会の開催、試食会の市民参加、給食ホームページの開設、給食への市民参加を行っていく予定である。

学校給食に要する経費の関係では、大型備品等に関しては食器消毒保管庫、献立の充実のためのスチームコンベクションオーブン、米飯給食の推進のため立体式炊飯器、可動式調理台等の導入を計画どおり進めていく。今後も長期的な計画を含め、給食の改善に努めていきたいと考えている。

これらの事業を推進し、小金井の安全でおいしく温かい給食の提供に努めさせていただきたいと思う。

小林指導室長 指導室から、平成27年度の主な事業についてご説明する。

指導室として2つの重点を設定し、資料にお示しした主な事業に取り組んでまいり。

1つ目は、学校、家庭、地域との連携である。小金井市の特色である家庭や地域の豊かな教育力や豊富な教育資源を市内の全小・中学校で活用できるようにするために、全校で学校、家庭、地域の連携事業に取り組み、地域の方々や外部人材等の力を活用した教育活動の充実に取り組んでまいり。

2つ目は、知・徳・体の調和のとれた生きる基礎を培う教育活動である。今年は学力向上を柱として、全教員が外部の講師等を招いた授業研究を年1回行うことで、教員の資質向上や授業改善を推進する。

次に、教育相談の充実では、虐待やいじめ、不登校の未然防止などに向け、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員し、児童・生徒、保護者が抱える複雑かつ多種多様化した課題に対する相談対応の充実や、専門的な視点に基づいた教員等への助言の機会を増やすなどしていく。そして、個々の状況に応じた支援及び学校における教育相談の一層の充実に取り組んでまいり。

特別支援教育の充実に向けては、特別支援教育支援員を6人から7人に増員し、特別な支援が必要な児童・生徒に対する日常介助や学習活動上のサポートなどの充実に取り組んでまいり。

これらの取り組みにより、「明日の小金井教育プラン」に示される小金井らしさの醸成、知育・徳育・体育の推進、教育環境の整備を推進してまいり。

西田生涯
学習部長 生涯学習部については、以前、予算規模等についてはご報告申し上げたところであるので、今回は予算等の規模のご報告については

割愛させていただき、内容について早速報告をさせていただきたいと思う。

小金井市については、第2次小金井市生涯学習推進計画というものを使って、現在、生涯学習は推進をしているところである。

大きく6つの課題についての整理を行い、それに基づき各種施策を行っている。

まず、地域社会づくりにつながる学習機会の充実。

2つ目として、家庭教育・乳幼児期の教育への支援。

3つ目として、市民による主体的な学習・活動の促進。

4つ目として、社会的な自立に向けた学習支援。

5つ目として、誰もが参加できる学習機会の充実。

6つ目として、学習活動を支援する人材の育成。

こういったものに従い、生涯学習課、図書館、公民館において、それぞれの事業を展開してきているところであるが、この第2次生涯学習計画の計画期間が平成27年度で終了することから、今年度は、また後ほど各課長より報告させていただくが、新たな次期の計画をつくっていくという作業に取り組みながら、新しい生涯学習推進計画のもと進めていくということが主眼になってまいる。

それでは、雑駁であるが包括的な説明は以上とさせていただき、個々の事業について課長から説明をさせていただく。

石原生涯
学習課長

それでは、第3次生涯学習推進計画策定委託についてであるが、総括的な説明は、今、生涯学習部長のほうからさせていただいたので、個別的なところを申し上げさせていただくと、現在、市において、第4次基本構想の後期基本計画を策定する作業を進めているところであり、そちらの市の計画との整合も図りながら、社会教育委員を中心に新しい計画をまとめていく予定となっている。

また、こちらは生涯学習全般に係る計画であることから、図書館協議会、公民館運営審議会との意見交換を行いながら計画の策定を進めていく予定となっている。

続いての文化財保存事業費の補助金であるが、こちらの概要に書かれているものについては、貫井南町にある共同墓地内の「閻魔堂木造閻魔王坐像」の修理に要する経費の一部を補助するものであり、平成26年度において文化財の損傷を防ぐために燻蒸処理ということで、虫の害から文化財を守る措置をしたところである。

平成27年度については、破損している部所などをこれ以上破損させないための修理など、所有者にそういった修理に係る費用を支援するために補助金を支出してまいりたいと考えているところである。

文化財については、これ以外にも市内の文化財の新たな指定に係る調査なども進めながら、小金井市の文化財をより一層市民の方に親しんでいただくとともに、保存に関する活動のほうも行っていきたいと考えている。

それから、清里にある少年自然の家の消防設備等改修工事であるが、こちらは大分老朽化が進んでいる消防設備等を改修する工事である。

続いてのチャレンジデー事業に要する経費については、昨年度初めて取り組んだ5月の最終水曜日のチャレンジデーについて、平成27年度は5月27日の水曜日となるが、また本年度も取り組んでいくというものであり、こちらについては、昨年度は黄金井倶楽部をお願いしてチャレンジデー事業に取り組んでいったところであるが、本年度については、黄金井倶楽部に加えて小金井市体育協会にもご協力をいただいて、チャレンジデー事業を進めていきたいと考えている。

そのほかに、チャレンジデーの効果を測定するため、どれだけ市民の方がチャレンジデーをきっかけとしてスポーツに取り組んでいただけるようになったかというような調査もあわせて行ってきたいと考えている。

続いてのテニスコートフェンスの改修工事であるが、こちらは桜町にある上水公園のテニスコート場のネットフェンスが、老朽化しているところから倒れたりすることを防ぐために新しいネットフェンスにつけかえるための工事を行うものである。

続いての空調設備等改修工事については、総合体育館については平成元年に開館ということで、大規模改修の計画を行ってきたところであるが、平成27年度についてはエアコン等の入れかえ工事を行う予定となっている。

生涯学習課は以上である。

上石図書館長

では、図書館から平成27年度教育委員会の主な事業について、説明させていただく。

今年度も図書館は小金井市立図書館運営方針を遵守し推進することにより、市民に信頼される図書館を目指していく。

今年度は、資料にあるように備品購入費が1件ついている。これは図書館のハンディキャップサービスの一環で、主に視覚障害者の方向けに作成している音訳図書及びお知らせ等のデジタル音声のデータを複製する機械を購入するものである。

この機械については、図書館だけでなく、議会事務局や広報、秘書課も刊行物の作成時に使用することになるが、ボランティア団体の主な活動場所である図書館にて購入し、使用することになる。

資料の2項目めについてであるが、「第2次小金井市子ども読書活動推進計画」の計画期間が平成27年度で終了になるため、次期計画を策定するものである。

図書館を含めて11課の課長職で庁内検討委員会を設置し、下部組織として作業部会を構成し検討するものである。4月の中旬から進めていくことになる。

西田生涯
学習部長

本日、急遽公民館長が欠席となったので、私から説明をさせていただきます。

まず、緑分館照明器具改修工事であるが、利用者の利便、あとは安全、安心な使用ということを考え、公民館緑分館のエントランス部分を中心に照明設備を改修していくものである。

東センターの運営委託については、市民協働・公民連携の理念に基づき、より一層の市民サービスの向上を図るため、小金井市東センターの図書館及び公民館の分室、分館を、今、貫井北センターを請け負っていただいているNPO法人市民の図書館・公民館こがねいに委託することを念頭に置いて行っていくというものである。

一応、今、8月をめどに行っているところだが、年度途中からの委託ということで進めていこうということで、今、取り組んでいるところである。

鮎川委員長

事務局の説明が終わった。何かお感じになったこと等あるか。
では、渡邊委員、お願いします。

渡邊委員

地域の人材や外部の人材の力を学校で活用するということであるが、具体的にどのように活用するのか。

小林指導室長 平成27年度は、全校で外部人材の活用や、家庭、地域との連携事業に取り組んでいく予定である。今のご質問の地域や外部人材の力を学校でどのように活用するのかということだが、例えば市内の全教員による授業研究の際に、講師として外部の人材等を活用したり、大学や企業、地域の方々をゲストティーチャーとして活用したりすることを考えている。

また、学習が進みにくい児童・生徒に対して個々に応じた学びの手助け等を行う個別指導や、学校図書館の環境整備などで家庭や地域の方々の力を活用していきたいと考えている。

鮎川委員長 小金井は大学も多く、地域の方々も優秀な方が多いので、ぜひその地域の力を生かしていただきたいと思う。よろしく願います。
ほかにご質問やお感じになったことはあるか。

福元委員長
職務代理者 指導室の説明に、SSW、SCを増員し、個々の子供の支援に当たるという意味のことがあった。今、学校にとって教育相談体制の充実はとても大事なことで、大いに推進してほしいと思う。そこで、もうちょっと具体的に計画を知りたいので、説明してほしい。

小林指導室長 それでは、スクールカウンセラーをSC、スクールソーシャルワーカーをSSWと呼ばせていただく。

今年度は2校の中学校で、SCの配置日を昨年までの週2日の配置から週3日の配置とし、学校における教育相談体制の充実を図った。

SSWについては、今年度1名増員し、計4名のSSWが定期的に児童・生徒が在籍する学校を巡回する。このことで、SSWの経験や専門性に合わせてケースを担当したり、困難なケースについては複数のSSWで担当するなどして、支援を必要とする児童・生徒の援助プロセスの確立、学校とSSWが連携した組織的な対応力の向上を図っていきたいと考えている。

さらに市内の全小・中学校で今まで以上にSC、SSWを学校の教育相談組織の中に明確に位置づけることで、学校の教育相談体制の充実を図っていきたいと考えている。

鮎川委員長 前回の教育委員会で、私も質問をさせていただいたが、思春期の中学生にとって、相談をする所は大切なことと思うので、毎回繰り返しになるが、こちらの充実をよろしく願います。

ほかに。岡村委員、願います。

岡村委員 平成27年度の特別支援教育支援員の配置はどうなるのか。

小林指導室長 今年度は小学校で特別支援教育支援員を1人増員し、全小学校で週2日の配置とした。中学校では、特別支援教育支援員の増員はないが、平成26年度の配置実績等を踏まえ、特別支援学級設置校への配置や、全中学校を巡回する支援員の配置などについての改善を行った。

平成27年は、特別支援教育支援員が7人の体制となる。今まで以上に特別な支援を必要とする児童・生徒の支援の充実に取り組んでいきたいと考えている。

鮎川委員長 よろしいか。

岡村委員 はい。

鮎川委員長 ほかにあるか。

福元委員長
職務代行者 感想でもいいか。

鮎川委員長 福元委員、願います。

福元委員長
職務代行者 全教員が外部講師等を招いた授業研究を行うことで教員の質向上、授業改善を推進するとの説明があり、大変期待しているところである。多分、小金井市でも今までなかったことだと思う。

結局、教育というのは、人によるところがほとんどなわけで、ここに目をつけて力を入れていかれるという計画は大いに応援したいところである。ただ、非常に難しい面もあろうかと思うので、ぜひ事務局のほうでも注意しながら見て、これが成功するように支援していただければありがたいと思う。

鮎川委員長 ほかに。
 渡邊委員、お願いします。

渡邊委員 大分前だが、農工大の図書館を見学したことがあり、そのときはパソコンの画面で図書を検索すると、そこに映像が出てきて、自分の探している本のところまで案内してくれるシステムがあったが、私はちょっと小金井のことがまだわからないが、今、検索はどのようになっているのか。

上石図書館長 今、渡邊委員がおっしゃった自分の資料を探したところは、フラッシュミたく書架番号でばかばかするのとか、レシートで50番のAの棚に行きなさいとか、そういったシステムを持った会社もあるのだが、私どもの今、契約している会社では、それを小金井のシステムにまだ落とせないというか、予算との絡みとかいろいろあるので、所蔵場所をお知らせするところまでシステムがまだ採用されていないということである。

 今、普通の書店でも少し大型書店に行くと、たしか色分けしてあったり、A列の何番とかということはあると思うが、そういったシステムは私どもの図書館ではまだ採用ができないということである。

鮎川委員長 図書館で検索し、印刷された感熱紙の下に書かれている書架番号で検索できないのか。

上石図書館長 書架番号が出ないのである。

鮎川委員長 出ない。

上石図書館長 私どものほうで資料検索をして印刷ボタンを押すと、書誌、情報、大きさとか書名、出版社、著者名、そういった書誌の情報が載っており、あと資料コードも載っているが、そちらを今度ご自分で館内表示を見て、分類番号からそこに行き当たるということなので、分類番号に詳しくないとなかなかその書棚には行けないかと思う。その分、職員がフォローしていくことになっているが、1人でそこ

の書棚にすぐに行けるかという、渡邊委員が言ったような書架番号はついていないので、まだそこまでできていない。

鮎川委員長 わかった。よろしいか。

渡邊委員 今後の見通しはどうか。

上石図書館長 私どものシステムも今年5月に第3期とって、今、昭島市との共同利用の共同利用型図書館システムというものを使っているが、2市で共同で同じものを使うことによってコストダウンを図ること、また、安定的なシステムを構築してきているということで、3期目に入るが、そちらの書架番号を案内できるところまでは、予算の絡みもあるので、今回5月にリフレッシュするが、そちらのほうは採用ができていない状況である。

今後については、図書館はいろいろな課題もあるし、ICタグを入れるとか、そういったこともかなりの予算がかかるものであるので、計画にまだ乗っていないところであるので、長期計画に少しでも早く盛り込むような形にしないといけないと思っているところである。

西田生涯学習部長 濟まない、今のは図書館長の希望であるので、全体的で予算を小金井市は見ているので、今すぐ実現できるという話には、はっきり申し上げるが、ならないと思っていたほうが……。

渡邊委員 ただ、希望しなければいつまでたっても。

西田生涯学習部長 ええ、希望してもすぐにはならないということ。

渡邊委員 ただ、いつかはなるかもしれない。

鮎川委員長 どうもお答えにくいところをありがとう。

館長がおっしゃったとおり、職員の方々が対応をしてくださるので、図書館で困ったことは今まで出会っていない。これからもよろしく願います。

上石図書館長 ありがとう。

鮎川委員長 何かほかにご質問、ご意見等あるか。よろしいか。

学校教育の庶務課のトイレ改修は、毎年行われている学校のアンケートでも、保護者の方からのご要望がとても高いところなので、このように大きな予算をつけていただいたことは、とてもありがたいと思う。よろしく願います。

では、よろしいか。続いて、報告事項2、平成27年度学級編制について願います。

鈴木学務課長 それでは、報告事項2、平成27年度学級編制状況についてご報告する。配付させていただいている資料をごらんいただきたいと思う。表面が平成27年度の学級編制状況になる。確定は学級編制基準である4月7日の状況で報告させていただく。裏面は参考として国立・私立学校等に入学した新一年生調べと通級指導学級の状況となっている。

なお、本年度の学級編制状況については、平成25年度に改正された東京都公立小学校・中学校教育学校全課程の学級編制基準により、小学校1年生、2年生、中学校1年生が35人編制または少人数指導やチームティーチングによる教員の加配を選択できる制度となっている。

4月7日の内容となるが、前年度と比較すると、小学校では通常の学級で児童が38人減している。学級数も2学級減となっている。また、中学校では、通常の学級で生徒は41人減した。学級数については65学級で2学級の減であった。

特徴的なところとしては、小学校全校の通常の学級で5人から26人の間で児童・生徒の数が減となっている一方で、1人から43人の間で児童数が増加となった学校も3校ある。

通常の1学級の平均児童・生徒数は、小学校は31.75人と昨年度と比べ0.17人の減となっている。中学校では35.23人と昨年度と比べ0.44%増となっている。

なお、小学校2年生の小2加配では、第三小学校、前原小学校、本町小学校が1学級35人編制とする学級規模縮小で対応、また中学校1年生の中1ギャップ加配では、第二中学校が1学級35人編

制とする学級規模縮小、東中学校、南中学校の中学校1年生はティームティーチング、TTを活用することとなった。

さて、特別支援学級については、小学校で4人増、中学校で3人の増となっている。学級数は中学校で2学級の増となっている。

なお、児童・生徒数は、在籍者から小学校8人、中学校4人の学級編制算定対応者を控除した数値になっているものである。

次に、裏面の国立・私立学校等に入学した新一年生調べである。平成27年度の小学校で国立・私立、特別支援学校等へ入学した方が43人いる。新一年生の全体の4.8%と前年度より1.4%の減となっている。

ちなみに、特別支援学級、特別支援学校を除いた国立・私立等に入学した方の割合は、平成26年度は6.21%、平成27年度が4.52%と減少しているところである。中学校では、国立・私立、特別支援学校等へ入学した方が219人おり、全体の22.1%を占めている。

また、特別支援学校を除いた国立・私立等に進学した割合は、平成26年度が25.1%、平成27年度は24.8%と0.3%ほど減少している。

なお、都立一貫校へ入学した人数については、昨年度と同数の23人である。

最後となるが、参考までに平成27年度通級指導学級の状況を掲載しているので、詳細は資料をごらんいただければと思う。

報告事項の2は以上である。

鮎川委員長

何かご質問、ご感想などあるか。よろしいか。

学級編制とは関係ないが、最後に通級指導学級の状況をご報告いただいたので、中学校の複数の先生からいただいたご要望をご紹介させていただく。

高架になったので南北は関係ないかもしれないが、中央線より南側に中学校の通級学級がない。小学校で通級に通っていてうまくいていた生徒が、中学校で通えなくて残念だというご意見をいただいている。ご紹介させていただく。

では、よろしいか。報告事項3、寄附の収受についてをお願いします。

鈴木学務課長 それでは、報告事項3、寄附の收受についてご報告申し上げます。
資料を配付させていただいている。ごらんいただければと思う。
平成26年度は資料にあるとおりである。小金井第四小学校PTA様から小金井第四小学校に跳び箱1台、小金井郵便局様から各小学校に2014年FIFAワールドカップブラジル大会公式試合球レプリカのサッカーボール9個、株式会社土井家具様から南中学校にパイプ椅子35脚、小金井第二中学校に図書充実のため現金50万円の寄附については故人の遺言によるもので寄附があったものである。それから、東京都トラック協会様から下敷き、東京小金井ライオンズクラブ様からランドセルカバーを、こちらも下敷き及びランドセルカバーはそれぞれ新入学の児童に寄附いただき、今年度についても学校を通じて新一年生の新入学の児童に配布させていただいている。

鮎川委員長 ご質問、ご感想等あるか。よろしいか。
続いて、報告事項4、小中学校教育管理職及び教員の異動についてお願いする。

小林指導室長 報告事項4の資料をごらんいただきたい。1枚目に管理職の異動を掲載した。めくって見開きの2ページになるが、教員の転入・転出者名簿、左側が小学校、右側が中学校を掲載した。
報告事項4の資料をもって報告とさせていただく。

鮎川委員長 ご質問、ご感想等あるか。よろしいか。
では、続いて報告事項5、教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定についてをお願いする。

小林指導室長 本件に関しては、指導主事より説明申し上げます。

鮎川委員長 お願いする。

平田指導主事 報告事項5、教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について報告する。平成27年3月4日から3月13日にかけて、市立小中学校14校の教育課程を受理した。配付した資料は、平成27年度教育課程のまとめとなる。全小・中学校が学習指導要領の2年

と「明日の小金井教育プラン」の計画に基づき作成した教育施策、主要事業を具現化するように、学校や地域の実態を踏まえ、創意工夫をした教育課程を編成することを指導してまいった。

平成27年度の教育課程編成の重点としては、学力向上の推進と人権尊重の精神の育成の2点とした。

各学校の教育課程では、この2点について、児童・生徒の実態や地域の特色等を踏まえ、具体的な取り組みが示されている。各学校の教育課程編成上の工夫としては、外部人材や地域ボランティアを生かした学習支援、体験活動の充実を図る学校、学校公開授業やセーフティ教室等、土曜日の授業を充実させ、家庭や地域との連携を図る学校も見られる。

今年度も市立の小・中学校においては、学校の教育目標の具現化に向けた特色ある教育活動を展開されることが期待される。教育委員会としても、校長会や副校長会、教員主任研修会や学校訪問の機会を活用して、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の推進、教育課程の適正な進行管理について指導していく所存である。

報告は以上である。

鮎川委員長

何かご感想等あるか。
福元先生、いかがか。

福元委員長
職務代行者

教育委員会から重点事項として発信していることが各学校に十分に浸透してきている。教育委員会と各学校の連携の良さが教育課程の届出内容に反映されているというのは、うれしいと思う。更に連携を強め、これを成功できるようにみんなで応援していきたいと思う。

鮎川委員長

ありがとう。ほかにご感想などあるか。

渡邊委員

ちょっと文章がわかりづらいのだが、東中の「地域の清掃活動やちょボラ運動」というのはどういう意味か。

鮎川委員長

社会貢献のところか。

渡邊委員

ええ。

平田指導主事　　まず、ボランティア活動についての名称である。地域の清掃活動というボランティア活動と、ちょボラというのが「ちょこっとボランティア」を略して「ちょボラ」と言う。

渡邊委員　　「や」は関係ないのか。

平田指導主事　　はい。生徒たちがちょボラをしようということである。

渡邊委員　　「ちょボラ」と言うのか。

平田指導主事　　声をかけ合って取り組んでいる事業である。

渡邊委員　　ちょっとボランティアをやっていると。わかった。

鮎川委員長　　ほかはよろしいか。

続いて、報告事項6、平成27年度研究奨励校等についてをお願いします。

小林指導室長　　本件についても、指導主事よりご説明申し上げます。

丸山指導主事　　報告事項6、平成27年度研究奨励校等についてご報告する。報告事項6資料をごらんいただきたい。

資料にあるように、平成27年度の研究奨励校は2校である。2年目になる東小学校は、道徳の授業づくりについて熱心に研究を進めており、「子供たちに自信と誇りを！～道徳の時間を通して～」というテーマで1月29日に研究発表を行う予定である。また今年度、新たに緑小学校を研究奨励校として指定した。

続いて、「わかる・できる・活かす」授業改善推進指定校も2校である。2年目になる前原小学校は、算数が好きな子供を育てることに焦点を当て、「学習意欲を向上させる効果的な算数指導の工夫」をテーマとして12月4日に研究発表を行う予定である。今年度、新たに小金井第二中学校を「わかる・できる・活かす」授業改善推進指定校に指定した。

東京都のオリンピック・パラリンピック教育推進校では、小金井

第一小学校、小金井第二小学校、小金井第三小学校、前原小学校、南小学校、小金井第二中学校の6校が指定され、児童・生徒の体力の向上及びオリンピック・パラリンピック教育、国際理解教育、日本の伝統的な礼儀作法や習慣等の研究に取り組んでまいる。

東京都のコーディネーショントレーニング実践研究校として、今年度は小金井第二中学校が指定され、脳と体を調整する新たなコーチングに関する研修の取り組みの研究をしてまいる。

東京都の言語能力向上拠点校としては、昨年度に引き続き、東小学校が指定され、本年度からは新しく緑中学校が指定された。小金井市における言語能力向上についての研究と発信をしていく。

さらにICT環境整備支援事業指定校として、小金井第一小学校、東小学校、東中学校の3校が平成27年9月から平成28年7月までの1年間、東京都の指定を受けて、タブレットを活用した学習の研究に取り組んでいく。

最後に東京都の日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業指定校として、緑小学校と南小学校が指定された。日本古来の伝統的な文化に対する取り組みを体験したり、外国の方と交流したりしながら研究を進めてまいる。

報告は以上である。

鮎川委員長

ありがとう。何かご質問等あるか。
教育長、いかがか。何か補足等があったら願する。

山本教育長

たくさんの学校がいろんな補助金などを活用しながら、いろんな研究に取り組む、この活発な状況は私も大変うれしく思っている。

鮎川委員長

ありがとう。よろしいか。
では続いて、報告事項7、その他、学校教育部からほかに報告事項があればご報告願う。

川合学校
教育部長

特にない。

鮎川委員長

生涯学習部からほかに報告事項があれば願う。

西田生涯
学習部長

ない。

鮎川委員長

では、報告事項 8、今後の日程。今後の日程について、ご報告願
う。

中島庶務係長

本日、お手元にお配りしてある委員会の今後の日程、向こう 3 カ
月であるが、先日、4 月 1 日の臨時会でご紹介さし上げた日程のと
おりとなっている。また、次回以降、日程が入ったら定例会でお知
らせしていきたいと思うので、本日は説明を省略させていただく。
よろしく願います。

鮎川委員長

では、次に人事に関する議案がある。委員長は、本案は小金井市
教育委員会会議規則第 10 条第 1 項に規定する事件に該当するた
め、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

鮎川委員長

では、全員異議なしと認め、秘密会を開会する。
準備のため、休憩する。

休憩 午後 2 時 25 分

再開 午後 2 時 27 分

鮎川委員長

再開する。

本日の審議は全て終了した。これをもって平成 27 年第 4 回教育
委員会定例会を閉会する。

お疲れさま。

閉会 午後 2 時 28 分